

みなさん、こんにちは。こちらカナダでは2月から新しいセメスターが始まりました。最初は初めて取る教科の授業に戸惑うこともありましたが、一ヶ月経過してその授業の進め方や勉強の仕方に慣れてきたと思います。

私はこの月の初め、時間割変更の検討で忙しくしていました。元々、第1セメスターと第2セメスターの両方を留学してから初日の学校登校日に決定していました。しかしながら、授業の難易度や時間割の都合の関係で時間割変更が急遽必要となり、何度もガイダンスカウンセラーの方や教科の先生と相談し、様々なクラスを見に行き変更期限間際に何とか教科変更が出来ました。最終的に決定した今学期の時間割は生物、英語、アウトドア、データマネジメントになりました。テストを伴う教科が三教科あること、英語が前学期のESLという第一言語が英語ではない生徒向けの授業とは異なり、ネイティブスピーカーの為の英語の授業になったことが大きな変化です。英語の授業は進みが早く、課題の量も多いので勉強に充てる時間を増やす必要があります。ホストファミリーとコミュニケーションを取る時間と勉強の時間、その他のアクティビティの時間、バランスを上手くとっていただけたらいいなと思います。

今回私が取った授業の内容に関して簡単に説明します。生物の授業は日本の学校と同じです。違いを挙げるとすれば、与えられる課題が日本よりも自由度が高いです。最近の課題では、授業を通して習った生物の分類法に基づいて自分が決めた一つの動物を分類し、それを表や写真を用いて視覚化するというものがありました。英語の授業も、日本でいう国語と大きな差はありません。有志の生徒が教科書を音読してクラス全体でストーリーを確認し、その内容を話し合います。そのストーリーの中には英語の古文で書かれたものもあり、中々理解するのが難しいです。この授業の課題としては、ストーリーや筆者の考えの理解というよりも文章を読んで自分が感じたこと、考えたことに焦点を置いた感想文が多いです。アウトドアの授業では外に出て体を動かす、外出時に怪我をした時の対処法や地図・コンパスの使い方など基本的なアウトドアスキルの習得が中心となっています。私は屋外限定の体育の授業だと思ってこの授業を選択したので、座学の授業も受ける必要があるのは少し億劫ですがとても役に立つ内容だと思います。数学の授業に関しては、日本の高校の学習よりも遥かに簡単だといえます。よく「アジア人は数学が得意だ。」なんてステレオタイプを耳にしますが、これはあながち間違っていないように感じられます。東アジアの競争的な学習システムの結果、数学の教育がとても進んでいるのだと考えます。テスト内では電卓の使用可能、公式はホワイトボードに先生が書いて教えてくれるなど日本の数学とは全く別物です。国によって授業の進め方や内容にも差異があるのはとても興味深いことです。

この二月の反省を書いている今、既に二月を終え三月を迎えました。日本では四季で言うと春にあたる事になります。まだまだ自分の英語の実力に欠陥を感じ、日本への帰国が近づいてきている事に焦りを感じています。そんな状況の中でも、一日一日を大切に成長していきたいです。